
堀の街

犬狼院犬丸

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

堀の街

【Zコード】

N7384L

【作者名】

犬狼院犬丸

【あらすじ】

堀に囲まれた街を観て「私」の話

白い堀に囲まれたあの街の中心の塔には何があるのだらう。
丘の上から私はその塔を見つめながらそのように思っていた。

何度その街に行こうと思つても、入り口であるひ門の前で立ち止ま
つてしまふ。

何時この門が開いて私を街に入ってくれるのだろうか。

ただ門が開く気配はない。

私はまた丘に登り街を見つめた。

晴れの日も、雨の日も。日の昇る朝も、天空に星の輝く夜も。
街を見つめながら私は街の住民や白い塔の中を想像するしかなかっ
た。

ある日の朝、門が開き始めた。

私は「ああ、やっとあの街に入ることができるのか」と喜びながら
門に向かって歩き出した。

門の前には老人から子供まで多くの人が集まっている。
なぜか皆悲しそうな顔をしている。
街に入るのがうれしくないのか。

やつと前にいた人が門の中に入ったときには門が閉ざされ
てしまった。

私は目を覚ました。

私は周りを見渡した。

そばにいた女性が驚いた顔をして部屋の外に出て行った。

(後書き)

自分が見た夢の街を書いてみました。
この話の「私」と作者は関係ありません。
でも入りたいと思ってはいましたが。（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7384/>

堀の街

2010年10月10日21時41分発行